

細腕なんて言わせない!!

235



「患者さんから『楽になったよ』という言葉をいただくと、本当にうれしいですね。でもね、震災以来、この仕事もとても厳しくなってきました」と、話す若松さん

健康の秘訣は歩くことです

「働くの大好きなんです」と話す

若松 晴美さん

■ビワ温熱療法・経絡整体サロン「わかまつ」経営
■いわき市内郷御厩町一ノ三七

電話／〇二四六一二七一五九〇九

社会の変化に伴い、心身を病む人が急増している。これに加えて、いわき地域では東日本大震災・原発事故によって、市民の多くが身体に変調をきたしている、という話もよく聞く。

こうした中、今、人気なのが整体。相双地区で開業していた人たちが続々と「いわき入り」し、*「戦国時代」*の様相をみせているが、ビワのエキスや葉を用い、訪れる一般市民はもちろん、プロゴルファーたちの「健康療法」を行って評判なのが、若松晴美さん（五〇）の営む健康サロン「わかまつ」。

全国健康普及会のヘルスアドバイザー、骨盤整体士（師）の資格を持つ彼女は、取得後の平成三年から出張整体を行っていたが、同十二年九月、湯本町に店舗を開業し、独立。その後、内郷の現在地に移り、営業を行っている。

この地域では珍しいビワの温熱療法は、疲労回復、血行を良くする、筋肉のこりをほぐし、疲れをとる、神経痛の緩和、自律神経失調症などに効果がある、とされているほか、がんで悩む患者らも

訪れている、という。

ビワは、もともとインドや中国が原産地。その効能から漢方の生薬にも使われ、また、日本でも古くから民間療法の一つとして枝、葉、茎、根などが利用されてきた経緯がある。

若松さんは、同十五年にこの療法のインストラクターとなり、今年二月に指導者としての資格を持った。

プロゴルファーも来院

「がんの患者さんも多く訪れます。ですが、私は医師ではないので、治すとかそういうことではなく、患者さんたちの体が少しでも楽になればと思って続けています。療法後は皆さん、『とても楽になった』『痛みが和らぎました』などと言ってくれます。この言葉が本当にうれ

しいんです」

療法は、温熱器を利用してビワのエキス、あるいは葉を患部（肌）に当て、時間をかけてじっくり温めて行く。普段はエキスだけだが、彼女の場合は「さらに効果を上げた」として、葉も使ったのオリジナルだ。

これまでには多くのがん患者も訪れ、中には有名なプロゴルファーも月に一、二回のペースで来院。また、肩こりや腰痛、生活習慣病、さらにはストレス解消のために訪れる市民も多い、という。

患者の職業はまちまちだが、医者、教



諭、公務員など、社会的な地位にある人も少なくない。

予約制を採用し、こうしてコツコツと励んできた彼女だが、二年前の震災後は、同種の施設が市内各所で閉業し、営業を行っている

こともあって、訪れる市民は激減。「治療の値段とかがあるのではというが、商売が非常に厳しくなってきました。店を閉めることも考えました」と、それまでの

柔らかな笑顔を閉じ、真摯（しんしん）に語る。とはいえ、新潟や会津地方から訪れる

常連も持つ若松さんは、「これからも厳しさに代わりはないでしょうが、頑張つてやるしかないと思っています。私、昔から働くのが大好きだから。そうそう、健康の秘訣（けつ）はね、食事も当然大切ですけど、歩くことですよ」と言つて丸く笑った。



「健康にはまず、歩くことだ」

ビワのエキス、葉で「オリジナル療法」

プロフィール

わかまつ・はるみ

1963年1月4日生まれ。湯本町出身。施設が休みのときは仮設などを巡り、入居者の話を聞くなどの交流ボランティアも。訪れる利用者には、「病気に負けないで頑張つて！」などの激励文を書いたしおりも一人ひとりにプレゼント。自宅には夫、高校2年の娘。得意な料理は「近くに母がいるので大体は…。でも、肉じゃががですかね」。O型

■併催「器を楽しむ会」(各回、定員20人)

5月14日(火)・15日(水)・16日(木)
①10:00~14:00②17:00~20:00
(食事は、①12:00~②18:00~)
会場:向志満(草木台3-5-14)



長石釉茶碗 143×141×87

日本美術史・工芸史・西洋美術史を学んだ川淵直樹さん。一九七六年、本格的に南蛮風焼締陶の焼成を始めて以来四十年近く一貫してプリミティブな土器の世界、焼き物の発生の原点を志向。本展は、シンプルながら緻密な造形と柔らかな輪轆のタッチが融合した、独特の焼き味を持つ作品百余点を展示、販売致します。

川淵直樹 陶展

■会期/平成25年5月16日(木)~21日(火)
午前10時~午後6時(最終日は午後5時開場)

伝統的工芸品

しな織製品逸品展

会期/平成25年5月2日(木)~12日(日)



小野美術 株式会社

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F
☎0246-35-0383

HP: <http://onobijutsu.jp> e-mail: onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp